

射水市図書館協議会 議事録

1 開催日時

平成28年7月6日(水)午後2時～午後3時25分

2 会 場

射水市中央図書館 2階多目的会議室A・B

3 出席者

(委員)9名(10名中) (事務局)9名

4 会議次第

1.開会

2.教育長挨拶

3.委嘱状の交付

4.委員紹介

5.職員紹介

6.会長の選出

7.会長の挨拶

6.協議事項 資料1～資料2 参考資料1～参考資料2

7.質疑応答

会議経緯

(事務局)

平成27年度図書館事業概要について説明

(会長)

図書館事業概要のp1からp9までについて質問はありませんか。

(委員)

昨年度の事業で中央図書館「JICA ボランティア活動紹介パネル」展とあるが、昨今話題のJICAであるがこれは、図書館からの依頼によるものか。

(事務局)

JICAの方から啓発活動として展示を行っている。

(会長)

図書館事業概要のp10からp14までについて質問はありませんか。

(委員)

なし

(事務局)

平成28年度図書館事業(計画)について説明

(会 長)

平成28年度図書館事業(計画)について質問はありませんか。

(委 員)

図書館の図書購入費は、年々減少している。学校図書館の図書費も減少しているので、双方の連携を強化できればと思うが、学校図書館との物流は、どうなっているか。

(事務局)

学校司書が必要な本がある場合、各図書館と連携・情報共有して購入している。中央図書館内に各学校の棚を設け、必要に応じ学校から取りに来てもらっている。

(委 員)

自分の勤務する小学校の場合、大型絵本が高額なので、中央図書館へ勤務時間中に学校司書が取りに来ている。

(事務局)

旧小杉町のときは、移動図書館車で学校図書館を巡回していた。

(委 員)

大島図書館が無くなって、折り紙ボランティアや14歳の挑戦は、現在どうなっているか。

(事務局)

旧大島町の時代から折り紙のプレゼントをしていた。現在はしていない。

14歳の挑戦は、正力図書館で今年度2名受け入れた。

(事務局)

大島図書館閉館後の経過報告について説明

(会 長)

大島図書館閉館後の経過報告について質問はありませんか。

(委 員)

大島図書館の書架は、まだ残っているか。

(事務局)

一度現物を見ていただきたい。運搬については協力します。

(事務局)

雑誌スポンサー制度の経過報告について説明

(事務局)

委員の皆さんの中で、この制度を知らせたい企業等があるなら説明に伺いたい。

(会 長)

雑誌スポンサー制度の経過報告について質問はありませんか。

(委 員)

雑誌スポンサーの契約期間はいつまでか。

(事務局)

4月～翌3月までの1年間。雑誌スポンサーは、随時受付けています。

(委員)

雑誌リストを見て、3の「家の光」はJAへ 15の「ゴルフダイジェット」は小杉スポーツへ 37の「鉄道ジャーナル」はあいの風とやま鉄道にスポンサーをお願いしてみてもどうか。

(事務局)

助言ありがたく参考とします。

(会長)

事務局からその他報告事項として何かありますか。

(事務局)

中央図書館では、2階多目的会議室を今月7月20日から翌月8月31日までの夏休み期間中に学習室として開放する予定です。図書館の利用環境を充実させるため、試験的に「学生さんの学習室」を確保します。

(委員)

入り口で掲示を見ました。

(委員)

公共施設の統廃合方針の説明では、図書館は将来的に1本館1分館の2館体制となっていますが変更はないのですか。

(事務局)

射水市の方針を議会に報告したもので、議決ではなくこのような形で進めますという報告事項で、変更はありません。

(委員)

下村図書館はどうなのか。最近は検討中といった具合で以前よりトーンダウンしているように感じるのだが…。現状について聞きたい。

(事務局)

下村図書館は、平成29年度をもって閉館としているが、10月の新庁舎移転後の下村コミュニティセンター及び下村交流センターについて具体的なことは、何も決まっておらず、関係する図書館としてもこれに向けた作業は行っていない。

(委員)

下村交流センターは児童館としての機能もある。仮に下村図書館が無くなったとしても絵本や児童書等をこちらに移管して、インターネット端末はつないでもらい児童館の機能だけでも残してもらいたい。

(事務局)

元々のプランでも下村図書館を閉館させた後、児童書等の取り扱いは、そのまま施設に残すというものです。端末を残して検索となると図書館機能が残ることになるので、これは想定しておりません。

(委員)

正力図書館についてはどうなるのか。

(事務局)

正力図書館についても同じ答えになると思います。32年度以降に閉館の方針ですが、こちらも大門総合会館の中にある施設なので、会館本体の取り扱いが関係しています。正力図書館だけで存続について議論できないという状況は似ていると思います。

(委員)

大島閉館後に正力の利用者が増えたという説明でしたが、全てがその他へ流れたわけではなく、利用を断念された方がいるのは確かです。いろいろ問題はありますが、そこに住んでいる人への影響が一番大きい。市の財政状況が、ひっ迫しているのは分かりますが、住民説明をもっと丁寧にして頂くことを望みます。公共財産は住民の財産です。住民の皆さんとよく話し合っ、納得頂いて進めていってほしいと思います。

(事務局)

私も大島町の住民であり孫が来たときよく大島図書館は利用した立場だが、図書館閉館により発生する図書館難民をどうするのかという単純な議論でなく、いずれ何十年か先には、必ず見直しが必要になってくる課題なので、今後市民の全年代が、図書館を通して図書と触れ合える環境をどう醸成していけばいいのか、また新たにどのようなシステムが必要なのか考えていかなければならない。

下村図書館についても、図書館が無くなることは、本が無くなる、児童・親子の交流の場所が無くなるということではない。本を残すということについては、下村コミュニティセンターと一緒に教育委員会としても考えていかななくてはならないと思う。

(委員)

下村図書館については、本とふれあう環境としての側面だけでなく、社会で子供を見守っていける環境として、また親子ふれあいの場として残してほしい。そこへ行けば、遊べて本が借りられるという環境は、大変貴重である。

話しは変わるが、中央図書館の駐車場は、いつ来てもいっぱいだ。小杉庁舎跡地を当局は売却を進めているとのことだが、どこまで図書館駐車場として残るのか。

(事務局)

プロポーザルにより落札相手が決定したら、当局に対し先方へ中央図書館のためになるべく多くの駐車スペースを確保させてもらうようお願いしている。

(委員)

下村交流センターは総合的に集まる施設。市民協働が叫ばれる昨今、地元の人たちが、ボランティア活動の一環で本の貸借を継続すればよいのではないか？

(委員)

私は富山の魅力を発信する取り組みをしている。下村には魅力ある伝統文化がたくさんあるので、図書館が無くなってもこれらを伝承していく機会、児童館とか子供が集まる場所を残してほしい。

(会長)

新しい社会教育の場が必要となってくる。教育長さん、よろしく願います。他に議題がなければ、これで平成28年度第1回射水市図書館協議会を閉会いたします。